

令和6年度 保護者アンケート(コメント)に関する報告

あやの台小学校長

本年度も「保護者アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。ご記入いただいたコメントについてお知らせします。

今回のアンケートで、コメント欄に記述いただきましたご意見は、のべ83件でした。寄せられたご意見を読ませていただくと、「宿題について」「学校における指導について」「警報発表時の対応について」「行事等について」が多く見られました。「宿題について」では、宿題の内容や量について、「学校における指導について」では忘れ物をした時の対応や寒さ対策、タブレット活用方法などに関するご意見・ご感想をいただきました。ありがとうございました。これらの4項目について、回答させていただきます。また、児童アンケート、保護者アンケートの結果を添付しておりますので、ご覧ください。

1 宿題について

宿題については、低学年20分程度、中学年30分程度、高学年40分程度の学習時間をイメージして出しています。学童や習い事等で時間の確保が難しいご家庭もあるかと思えます。逆にもっと宿題を出してほしいと考えられるご家庭もあります。個別に量を調整することは困難で、学級ごとに児童の実態に合わせて上記時間をイメージして出しています。また、お子さまによって、さっと済ませたいタイプとじっくり取り組むタイプに分かれ差が出てまいります。今回頂いた意見も参考にしながら、学校として検討してまいります。

《具体的事案》

○体調不良により休んだ際、休み分の宿題を持ち帰ってきました。登校してからついていけるように、と配慮だと思えますが、病み上がりで数日分の宿題をやらせるのは心苦しかったです。毎日の宿題では、学童・習い事の後に、本読みと計算カードをやらせるのも小学校に入ったのだと思いながらも日々お互いにしんどい思いをしながらやっております。 少くらいサボる日を作ったり…ともやってみたりしたこともありますが、“サボる”を覚えてしまうのです。本読みか計算カード、どちらかにしてくれたらいいと何度も思いました。

体調によって宿題が負担になる場合については、その旨を担任までお知らせ頂ければと思います。しんどい中でやったとしても、学習内容が身につかないと思われまますので、その部分ではできる範囲でお願いします。

○毎日の宿題(本読み、漢字など)を子どもはただやっているだけという感じがします。特に本読みは何を目的にどこを注意して読ませるのか、指導にも困るところがあります。学校で子どもたちに指導していただいていることや注意点など、家庭に伝えてもらうと指導しやすく、子どもも学校と同じことを言われていると感じて学校と家庭が一体となって指導できると思えます。本読み等の宿題が効果的なものとなり、次の段階につながるのではと思います。

課題に取り組む際の目的意識はとても大切な事と思えます。宿題について、どのような点に注意して取り組むのか、どのように家庭にお伝えしていくか検討し取り組んでまいりたいと思えます。

- 平日も夏休みも宿題に追われています。平日は、帰宅してから就寝まで2時間程度。その間に夕食・入浴・宿題と片付けていくと家族でゆっくり話をする時間はほとんど残りません。そこに、体調不良時の通院など入るともう「体調が悪いのにいつもより就寝が遅くなる、、、」何のための宿題でしょうか。夏休み、子どもだけでスキルだけならできますが、作文や自由研究まで必須になると、子どもが「ヒマをもてあまして、自主的に何か始めて（やって）みた」のような長期休みしかできないような、子どもが本当に自主的に学ぶ機会がほとんどありません。両親とも外で働き、在宅時間の少ない家庭も少なくないと思います。すべての家庭が同じとはいかないですし、子どもたちの事を考えてくださるのはわかりますが、貴重な子どもの「余白」を少し考えていただけるとありがたいです。
- 学年が上がると宿題が毎日決まったもので、量も少なく、家庭学習はやはり宿題が中心になるのに、次に進級して急に増えれば子供も負担に感じると思うので、冬休み明けから、復習になるようなプリント等を出してほしいです。上の子が高学年の時には、もっとプリントもあり、どのくらい理解できているか家庭でも分かりやすかったのに、毎日同じドリルばかりだとだんだん答えも分かってくるので、もちろん繰り返しやることも大事なので今の宿題に+αでどの教科もプリント、土日は特に量を出してくれたら、次の学年への準備になると思うのでお願いします。今の量では少ないし、与えられたものの方が子供もこなせると思うので出してほしいです。

ご家庭によって宿題に対する考え方がこのように異なります。現在使用しているタブレットが故障も多くなり家庭への持ち帰りができない状態になっています。今後、新しい機種が導入されれば高学年を中心に持ち帰りが可能となり、自分の必要な量の学習を進めていけると考えています。宿題の量や内容については、今後学校でも検討してまいります。

また、長期欠席時におけるタブレットの活用についても合わせて検討してまいります。

2 学校における指導について

教員の対応や学校での指導の方針について、疑問を抱いているご意見をいただきました。学校での取り組みには職員会議等で指導の方向性について共通理解を行った上で指導していますが、気候変動や時代の流れによって学校の指導方法も年ごとに変革していく必要があります。今回頂いたご意見をもとに、それぞれの対応方法について、子どもの学びを一番に考えて検討してまいりたいと思います。それでも、担任の指導方法には個人差はあります。保護者の方にとっては、担任による指導方法の違いが感じ取れるかもしれません。その時は、担任にご質問をいただければ指導方針を説明させていただきますのでご連絡ください

《具体的事案》

- 赤白帽を忘れた際に体育の授業を見学させるという指導について…。

「人格の完成を目指し、自立的な社会人を育成する」学校の体育では運動の技術・協力・体験を通じて成長を促すとすると「赤白帽がない＝授業に参加できない」ということは学習機会の剥奪につながるのではないのでしょうか。区別が必要な団体競技・炎天下での熱中症対策など、これらも代替案があるとは思いますが、参加させてもらえなくても、仕方ないかもしれません。今回、なわとびの授業で、寒い中での見学だったそうです。「学校では赤白帽を忘れると体育を見学するという決まり」と説明を受けています。忘

れ物の指導は大切ですが、それが学びの機会の剥奪につながっていると感じました。

学校として、「忘れ物を無くす」「学習権を守る」「健康管理」これらのことをすべて進めていけるような指導を行わなければなりません。どのような指導が、子どもにとって適切なのか教員で日々意識しながら取り組んでまいりたいと思います。また、保護者の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

○寒くなってきた、朝のうちは冷えるようです。マフラー不可は事故の可能性もあると思いますが、ネックウォーマーはなぜダメなのでしょう？身体を動かさない授業中だけでも着用、検討いただけたらと思います。

学校にエアコンが導入され、子ども達の学習環境が良くなってきました。通常教室にはすべてエアコンが導入されていますが、図工室や調理室、外国語教室など特別教室にはまだ導入されていません。通常教室においても、時間帯や階の違いによって教室の温度は様々です。それらをふまえて今後の着用について、児童の体調等を考慮して検討していきたいと思います。

3 警報発表時の対応について

現在、警報発表時の対応については、各学校で校区の範囲や状況をふまえたうえで臨時休校や自宅待機の時間設定をしているため、対応時間が異なっています。来年度に向けて、橋本市内で統一する方向で教育委員会とも相談しています。来年度が始まりましたら、新しいガイドラインをお配りできると思います。

4 行事等について

今年の夏も異常な暑さに見舞われました。この夏の暑さにより、学年によっては春の遠足で大変だった、休憩時間に外で遊べない、水泳も実施できない日がある、橋本市の学童水泳記録会が中止になる、など様々な場面で制限がありました。行事等を進めるにあたり、日々変わる状況を考慮しながら、来年度行事を計画してまいりたいと思います。

交通安全についても、今年度も地域の方々から、登下校時や放課後、休日などの、路上のマナーについてご指摘をいただきました。危険を予測し、やってはいけないこと、命を守る行動を伝えていきます。子どもたちの健康と安全を守るために学校とご家庭とが手を携えて取り組むことがなによりも大切です。ご協力よろしくお願いいたします。

《具体的事例》

○4月の家庭訪問でコロナ等の関係で家の中に入らず玄関先で対応というのはわかりますが、近所の手前もあり伝えたいことが伝えられなかった。年度当初なので子どものことも話したい。

来年度の家庭訪問については、個人懇談に変更予定です。

○事故や不審者などの安全面に不安があるので、上級生との集団登校があるといいなと思いました。

他のいくつかの学校で実施されている集団登校ですが、集団登校は保護者・地域の方が中心となって実施していただいています。緊急時に集団下校等を実施していた時には、学校でそのグループ単位で集まって登下校のルールを確認するなどの指導を行っていました。集団登校については、保護者の皆様で声を掛け合って、計画していただければ協力させていただきます。

なお、これ以外にも頂いたご意見がたくさんありますが、個別にお返しの方が良いもの、個人的な内容が含まれているもの、学級単位のものについては、触れていません。個別に回答させていただいたり、教職員に伝達したりしております。中には、すでに対応したものや対応を継続しているものもありますので、ご了解をお願いします。

また、今年度も例年以上に教職員に対する励ましの言葉を数多くいただきました。私たちが取り組んでいることに対し、保護者の皆さんのコメントから得られる手応えは、取組を評価する材料となるだけでなく、教員の意識の向上につながります。本当にありがとうございました。

○メッセージ〈一部紹介させていただきます〉

・授業が分かりやすく、楽しく先生の話をしてくれるので安心しています。「オクリンク」を使うことで、発言しにくい子どもの意見もみんなに見てもらえるというのを子どもから聞きました。みんな自分の思いや考えをありのままに表現できるとても良いシステムだと感じました。

・いつもありがとうございます。先生の授業中の内容も楽しく、少し雑談もしながら教えてくれるのが、本人は気に入ってるみたいです。毎日、家で「ママ知ってる？こんなことがあるんやで…」とかいろいろ子どもが教えてくれます。

・子どもは毎日、学校生活を楽しそうに話してくれます。両親も安心して通わせられています。学校が好きで、優しい友人にも恵まれ学級委員にも選ばれたこと、代表委員になれたことは本人の自信にもつながっているようです。また、不審者情報もメールで送信して下さりとても助かっています。子どもたちが安心して、学校生活が送れるよう、ご指導して下さり、本当に感謝しています。この学校に入学して本当によかったなと思っています。

・毎日楽しそうに学校のことやお友達のことを話してくれています。HPも楽しみにしています。お忙しい中、写真とともにのせてくれるので、様子がよく分かります。学年が上がるにつれ、友だちとのかかわりなども親としては心配することも増えますが、ある程度は見守ることも必要な…と思っています。トラブル等があれば子ども同士で、うまく折り合いをつけて解決する力もつけてほしいなと思っていますが、その方法なども、学校生活の中でサポートしていただけたらありがたいです。

いつもありがとうございます。

・クラスでの困り事も、まず自分達でなんとかしようと考えて行動する力が育ってきていると思います。自分達ではできない事もありますが、助けてあげてください。

よろしくお願いします。

保護者の方からの学校や教職員に対する好意的で温かいまなざしに感謝をしつつ、皆様と共に子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。アンケートへのご協力ありがとうございました。